

1年生が職業人の話を聞き、仕事に携わる人の思いを知る「ワーキング・スタディ」を22日の5・6時間めに実施しました。



今回は自分たちが総合的な学習の時間で調べまとめた東中校区の魅力について発信したり、社会科で学んだ公共交通について自分の考えを述べたりして、実際にゲストの方に助言をいただく形にしました。

ゲスト講師は西尾市観光協会、西尾市役所交流共創部観光文化振興課、市民部地域つながり課の職員3名です。



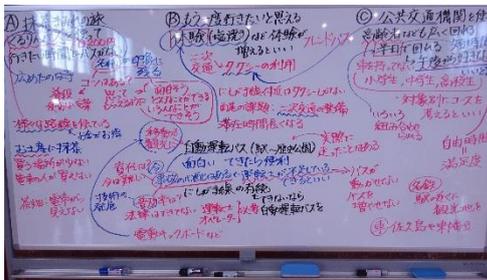
まず各組の代表の子が東部地区の魅力コースを発表しました。どのクラスにも入っていたのが「道の駅にしお岡ノ山」でした。生き物ふれあいの里、ふれあいの道、万燈山なども挙げられ、どのコースもよく考えられていました。そして、助言者にコースの長さはどのくらいが良いのか、

パンフレットのコツは、など助言者に質問する子がいました。また、上永良町出身で関ヶ原の戦いでも活躍し松山城城主となった加藤嘉明についてもっと宣伝してほしいという要望を出す子もいました。

さらに、公共交通機関を使って市内を回るコースとして、例えばくるりんバスを利用した「抹茶まみれ」コースなどの提案を行ったり、自動運転によるバスの利用について現状はどうなっているのか質問したりする子もいました。

3人の助言者の方はどんな質問にも丁寧にこたえていただきました。

パンフレットのコツとして表紙、絵、写真、大きさ、置く場所などについて教えていただいたり、対象年齢によってコースやテーマの設定を、どのように変えるかについてのコツを教えていただいたりしました。



また、公共交通機関の利用についても、各アイデアを認めていただいたうえで、タクシーの利用を含めた**2次交通の充実の大切さ**や自動化に関わっては法律的な問題も含め、西尾市でのいろいろな試みについても触れていただきました。

助言者の話を聞きながら、どんどん質問が増えていくのが分かりました。

西尾市の観光PRに東中の1年生が動き出しそうです。